

会議名	第2回港区まちづくりマスターPLAN改定骨子案策定支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和7年1月30日（木曜日）午前9時45分から午前10時30分まで
開催場所	港区役所9階912会議室
委員	出席者 4名 富田委員長、中井副委員長、森本委員、桑田委員 欠席者 1名 岩崎委員
事務局	街づくり支援部都市計画課街づくり計画担当
会議次第	1 開会 2 議事 （1）第一回選考委員会議事録について （2）第一次審査について （3）第二次審査について 3 閉会
配付資料	[席上配付] 資料1 港区まちづくりマスターPLAN改定骨子案策定支援業務委託 事業候補者選考一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール(案) 資料3 港区まちづくりマスターPLAN改定骨子案策定支援業務委託 プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項(案) 資料4 第二次審査採点基準表(案) 資料5 第1回港区まちづくりマスターPLAN改定骨子案策定支援業務委託 事業候補者選考委員会会議議事録(案) 参考資料1 港区まちづくりマスターPLAN改定骨子案策定支援業務委託 事業候補者募集要項 参考資料2 港区まちづくりマスターPLAN改定骨子案策定支援業務委託 事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書(案)

#### 会議の内容

委員長	【1 開会】 (委員長より開会の挨拶) 本日、岩崎委員は急遽体調不良により欠席となるため、委員欠席に伴う取り扱いについてまずお諮りする。事務局から対応案について説明をお願いしたい。
事務局	本日は一次審査である書類審査の審議となり、岩崎委員には各委員と同様に事

	業者からの企画提案書を基に事前に採点をいただいている。また、本人から点数変更の意思がない旨は確認しているため、岩崎委員の採点については事前に頂いているものを採用することも可能と考える。
委員長	各委員が同様に十分書類審査をしているため、事前に提出されている採点を採用することで、いかがか。
委員全員	異議なし
委員長	それでは、事前に提出された採点を採用する。
<b>【2議事】</b>	
【(1) 第一回選考委員会議事録について】	
(事務局より資料5に基づき説明)～詳細省略～	
委員長	議事録について、ご意見・ご質問などあるか。
委員全員	なし
<b>【(2) 第一次審査について】</b>	
(事務局より資料1に基づき説明)～詳細省略～	
委員長	一次審査について、ご意見・ご質問などあるか。
A委員	C事業者について、現時点で一次審査の基準点を満たしていないが、様式6の業務スケジュール「改定骨子(案)の作成支援」に記入がなく空欄となっていた。スケジュール全般にわたっているという解釈も考えられるが、どのように捉えるべきか。
委員長	C事業者の業務スケジュールについて質問があったが、事務局いかがか。
事務局	事業者から説明等は受けておらず、各委員のお手元にある提案書が提出されたそのものとなる。当該部分が空欄なことや、記入されているその他スケジュールなどから総合的に判断して採点いただきたい。
A委員	全般にわたったスケジュールという意図なのか、本来記述すべきものが抜けてるのかは判断しかねる。

B委員	C事業者については、業務分担や他のスケジュールについても複雑で、クリティカルな部分がわかりにくい点も気になった。
委員長	ここまで議論で、C事業者の様式6について、採点を修正する委員はいるか。
委員全員	なし
委員長	続いて、審査にあたり評価したポイントなど、各委員から順番に講評をお願いしたい。
A委員	3者とも、点数に現れているほど遜色ないと感じている。B者は、全般的に手馴れた感じでまとめていたりと、やや総花的だが、様々な提案をされている点を評価した。特に様式8については、論理をしっかりと組み立てて、うまく新しい視点を創出していたため、高く評価している。一方で、様式11に関しては、記載の内容はわかるが、ごく一般的であると感じたため低い得点をつけた。A者は可もなく不可もなくという印象。C者については、全般的に書き方が箇条書きで止まっていたりと、やや他の2者に比べると劣る。項目によってはユニークな提案をされているのでその点は高く評価した。
C委員	私もA委員と概ね同様な印象を受けた。一番点数が高くなったのがB者で、各提案を見ても、エビデンスをしっかりと引用した提案がされていた。一方でC者は他の2者に比べると、面白い提案はもちろんあるが、全体の書きぶり等は、やはり劣ってる感じがあり、若干点数が低くなつた。A者はちょうどその間で、あまり強い印象は持たなかつた。また、B者の様式11について、「dicidim」等も含めDX絡みの提案がされている点に面白みを感じたのと、導入への期待を込めてA委員とは違い高い得点をつけた。
D委員	まず、3者とも6割は超えてると判断した。その中でB者が書き込みの度合いも含めて、全般的にレベルが高い。一方で、どこに焦点を当てていくのかというところは、先ほどA委員から総花的という意見もあったが、私も同様に感じた。特に様式7のまとめ方はパワーもあり、一番しっかりと感じ、高い得点をつけた。次にC者に比べて、A者の得点を低くつけた。A者の提案は特徴と裏腹だが、緑や環境に非常に力を入れてるのは伝わり、大事なテーマではあるが、港区の中で解決するには、緑だけでは、なかなか難しい面もあると正直感じた。そのような意味でA者とC者とを比べて、Aの方を少し低くした。C者は、個々に面白い点があるが、おそらく物理的な時

	間も含めて力尽きたのだろうと感じる記述があった。完成度は低い部分もあるが、取り組みの方向性としては面白い点があるのと全般的な目配りがあると感じ、点数的にはA者よりC者を高くした。結果として、B者、C者、A者という順番になった。
B委員	A者は港区のことよく理解し、隈なく提案しているが、D委員からも意見があったように、緑に関しては特化して書かれているが、その他の視点が少し足りないと感じた。B者は、個々の提案にしっかりと整合性が取れていて、様式ごとに関連するところは統一され、整理もうまくできていた。C者の様式8、9については、非常に面白い視点もあった。一方で、様式6や11などは少し欠けてるところもあった。トータルでB者が秀でており、次点にA者、C者も良い提案もあったが、全体のバランスを見るとこのような順番になった。
委員長	各委員からの講評を受けて、採点を変更する委員はいるか。また、B者は一次審査通過で良いと考えるが、その他の一次審査の通過事業者をどうするかを念頭に意見交換をお願いしたい。
A委員	私は自分の点数を変える必要はないと考えている。A者は緑に偏り過ぎた提案や新しい提案に欠ける点もあるが、現行のマスタープランの成果はとてもよく書いており、港区のことをよく理解しているという印象を受けた。一次審査は通過させることで良いと考える。
委員全員	A委員の意見に、異議なし。
委員長	各委員の意見を踏まえ、B者及びA者を一次審査の通過事業者とすることによろしいか。
委員全員	異議なし
委員長	それでは、二次選考に進むのはA者、B者の2者とする。
【(3) 第二次審査について】 (事務局より資料2～4について説明)～詳細省略～	
委員長	ご質問・ご意見はあるか。
A委員	A者とB者が鉢合わないような配慮はしているか。

事務局	控室を用意し、動線も両者が顔を合わせないよう進行管理する。
A委員	資料4の二次審査の評価項目の実現性と発展性は内容が近いので、うまく切り分けられるだろうかと感じる。
B委員	実現性については、検討期間が長いので、信頼関係ができるかというところと、発展性は様々な港区の特徴を押さえながら、今の社会情勢などを踏まえ、先を見越した視点があるかというところを評価したい。
C委員	実現性は現実味なので、逆に言うと、現実味を高めれば、将来の発展性がなくなるので、捉えようによつては相反する関係にもなる。そのような意図で評価するということでおろしいか。
委員長	C委員の意見のとおり、切り分けて考えることとしたい。
委員長	二次審査のプレゼンテーションの時間は15分、質疑応答の時間は最大25分で各委員5分程度質問することで良いか。
委員全員	異議なし
委員長	審査会場への入場は、最大3名までとすることで良いか。
委員全員	異議なし
委員長	プレゼンの実施方法として、プロジェクターでの資料投影内容は、既に提出している企画提案書の内容が変わらなければ、分かりやすく編集したものでも可とするが、企画提案書に記載されていない新たな内容を追記することは不可でよいか。
委員全員	異議なし
<b>【3 閉会】</b>	
(事務局から今後のスケジュールについての事務連絡) ~詳細省略~ (委員長より閉会の挨拶)	